

所在地 〒939-2605 富山市婦中町河原町561-5

電話 076-469-2423

FAX 076-469-4758

ホームページ

城山中学校

検索

開校年月日 昭和22年(1947)4月24日

校長 池淵直人



QRコード



学校のあらまし

本校は、呉羽丘陵の東に位置し、里山の自然環境に恵まれた所にあります。グラウンドの周りは桜の古木で囲まれ、春には美しい花をいっぱい咲かせてくれます。また、学校周辺には古墳群や中世山城の跡が点在し、歴史的遺産が数多くあります。平成16年には、音川中学校と城山中学校が統合し、新しい城山中学校としてスタートしました。平成20年3月に、校舎の改築も完了し、行き届いた環境の中で、校訓「見つけよう誇れる自分 育てよう美しい心」のもと、生徒会を中心に明るく楽しい学校づくりに努めています。

教育目標

【校訓】見つけよう誇れる自分
育てよう美しい心

【教育目標】

優れた知性と豊かな心、たくましい体を持ち、「自立・共生・貢献」を目指す生徒の育成

学校の歩み

昭和22年 開校
昭和46年 無監督テスト開始
昭和58年 心身障害児理解推進校（文部省指定）
昭和61年 勤労生産学習研究推進校（文部省指定）
平成14年 学力向上フロンティアスクール指定（文部科学省指定）、県環境功労知事表彰
平成16年 音川中学校と城山中学校が統合
平成19、20年 豊かな体験活動推進事業（文部科学省指定）
平成22年 PTA文部科学大臣賞受賞
平成25年 学力向上市町村委員会プラン研究事業指定
平成29年 創校70周年記念式典

学校行事

- 4月 始業式、入学式、学習参観、プロジェクト・アドベンチャー（1年）
- 5月 中間考査
- 6月 校外学習（1年）、市中学校総合選手権大会、教育相談、期末考査
- 7月 資源回収、支援学校との交流会、人権を考える取組、終業式
- 8月 PTAバザー、地域ボランティア活動、始業式
- 9月 体育大会、市中学校新人大会、統一学校公開日
- 10月 校外学習（2年）、中間考査、学習活動発表会、修学旅行（3年）
- 11月 資源回収、教育相談、期末考査
- 12月 人権を考える週間、球技大会、終業式
- 1月 始業式、書初大会、百人一首大会
- 2月 新入生説明会、学年末考査
- 3月 同窓会入会式、卒業式、修了式

生徒数

（令和3年5月1日現在）

	1年	2年	3年	特別支援	合計
男子	59	30	47	7	143
女子	33	39	44	1	117
合計	92	69	91	8	260
学級	3	2	3	2	10

工夫している本校の取り組み

- ・ホームページ等を充実させ、学校の行事と生徒の様子を分かりやすくリアルタイムで伝えています。
- ・朝の10分間は集中力を高め、落ち着いて授業に臨むための時間としています。読書をしたり、自分の考えを書いたり、視写をしたり、読解力や学力向上のための活動に取り組んでいます。
- ・登校後の朝の時間（15分間）を活用して、自学自習するプロジェクト「朝S」を行い、生徒自身の「学びに向かう力」を高め、学力向上につなげています。
- ・生徒の自主性を大切に生徒会活動を展開し、地域ボランティアや異校種間交流等を積極的に行っています。また、部活動にはほとんどの生徒が加入し、活発に活動しています。
- ・人権を考える取り組みを、年間6回、全校一斉に実施しています。生徒一人一人が資料を真剣に読み、自分の思いをまとめています。
- ・新しい学級の仲間との信頼関係を深めるために、とやま健康パークの施設を活用して、「プロジェクト・アドベンチャー」（1年）を体験し、絆を深めています。



学校生活が楽しいと実感できる学校を創ります



1 学ぶ力を伸ばし、主体的に学力向上に努める生徒を育てます。

- ア 毎朝10分間、「城中タイム」として様々な活動をしています。
落ち着いた雰囲気の中で一日をスタートさせるとともに、集中力や学力向上に努めます。
- イ 授業のユニバーサルデザインを取り入れ、学習課題・見通し・個別の支援・まとめ・振り返りを意識して、「分かった」「できた」という授業実践に努めます。ペア・グループ学習等の学習形態を工夫することで教え合ったり、学び合ったりする機会を増やすとともに、自分の考えを書く・伝える、相手の考えを聴くといった場面を多く取り入れ、意欲的な学習につなげます。
- ウ 「朝S」を通して自学自習の習慣を身につけさせ、学力の向上を支援しています。また、基礎学力コンテストや確認テスト等、効果的な反復練習を行ったり、きめ細かい丁寧な指導に努めたりします。



城中タイム



ペア・グループ学習

2 人間性を高め、社会性をはぐくむ教育を進めます。

- ア 一人一人の生徒をよく観て、よく話を聴いて受容し、生徒の自己有用感を高めます。
〔 自己有用感…自分の属する集団の中で自分がどれだけ大切な存在であるかということ、自分自身で意識すること。〕
- イ 学級生活の満足度を捉える検査や人間関係づくりエクササイズ（プロジェクト・アドベンチャー、集団づくりプログラム等）を生かした学級・学年経営を進めます。
- ウ 毎週木曜日を学力補充や生徒会活動に充て、生徒との触れ合いを大切にし、自分のよさや可能性を伸ばす機会を多くもちます。
- エ 将来、社会に貢献する生徒の育成を目指し、志をもつ教育活動を進め、地域のボランティア活動や行事への参加、異校種間交流に積極的に取り組みます。



集団づくりプログラム



プロジェクト・アドベンチャー

2020前期生徒会スローガン

「超克」～今を乗り越え 希望ある未来へ～

2020後期生徒会スローガン

「Step by Step」～今 踏み出そう

誇れる自分を見つけるために～

<生徒総会>



<体育大会>



<合唱コンクール>

